

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年12月4日 (2014.12.4)

【公開番号】特開2014-138909(P2014-138909A)

【公開日】平成26年7月31日 (2014.7.31)

【年通号数】公開・登録公報2014-041

【出願番号】特願2014-96337(P2014-96337)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 3 1

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月20日 (2014.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体の周囲を回転自在な X 線管を有する架台と、

前記 X 線管からの X 線の線量を前記回転軸で高く周辺で低くするために前記 X 線管と前記被検体との間に配置されるフィルタと、

前記 X 線管の回転軸に直交する 2 軸に関し移動自在な天板を有する寝台と、

前記被検体に関する関心位置を前記 X 線管の回転軸の位置に一致又は最接近させるために前記天板の移動を制御する制御部とを具備することを特徴とする X 線コンピュータ断層撮影装置。

【請求項 2】

前記制御部は、前記関心位置を前記 X 線管の回転中心に一致させるための前記天板の移動距離が前記天板の移動限界の範囲内であるか否かを判断することを特徴とする請求項 1 記載の X 線コンピュータ断層撮影装置。

【請求項 3】

前記制御部は、前記指定された位置を前記 X 線管の回転軸の位置に一致させるために前記天板の移動を制御することを特徴とする請求項 1 記載の X 線コンピュータ断層撮影装置。

【請求項 4】

前記制御部は、前記関心位置を前記 X 線管の回転軸の位置に一致させたときに前記被検体の全域が撮影視野に収まっているか否かを判断することを特徴とする請求項 1 記載の X 線コンピュータ断層撮影装置。

【請求項 5】

前記制御部は、前記被検体の全域が撮影視野に収まることを限界条件として、画像再構成範囲の中心を前記 X 線管の回転軸に最接近させるために前記天板の移動を制御することを特徴とする請求項 4 記載の X 線コンピュータ断層撮影装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明に係るX線コンピュータ断層撮影装置は、被検体の周囲を回転自在なX線管を有する架台と、前記X線管からのX線の線量を前記回転軸で高く周辺で低くするために前記X線管と前記被検体との間に配置されるフィルタと、前記X線管の回転軸に直交する2軸に関し移動自在な天板を有する寝台と、前記被検体に関する関心位置を前記X線管の回転軸の位置に一致又は最接近させるために前記天板の移動を制御する制御部とを具備する。